

教育のつどい大阪2014
 全体会10月18日(土) 13:20大阪大学会館
 教科別分科会 11月1日(土)9:30
 豊中市立大池小学校
 問題別文科会 11月16日(土)9:30
 箕面市立第三中学校

泉北教育

NO.1982 2014.10. 14.
 発行 泉北教職員組合
 〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
 TEL0725-41-1953 Fax0725-44-6570
 E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

学力向上といいながら 中身は学力テスト対策

学力テストあつて、教育なし

府教委は、2007年度と今年度の「全国一斉学力調査」結果を比較して、全国平均との差が開いている29市町村(政令市を除く)を「重点対策市町村」としました。
 さらに、府教委は、当該の教育委員会を通じて、学校に「学力向上のための今後のとりくみ計画」(以下、「学力向上計画」)の作成・提出を求める、としています。

「全国一斉学力調査」結果は、子どもの学力の一面にすぎないものです。毎年調査対象の子どもはちがうのに、平均正答率を単純に比較して、市町村や学校の学力が向上したかどうかを判断することはできないはずです。にもか

わらず府教委は、全国平均との差が開いている市町村を一方的に「重点対策市町村」に仕立て上げ、当該市町村教育委員会や学校に「学力テスト」対策を押し付けようとしていることは重大な問題です。左の「学力向上計画」は、

和泉市教委が各学校に示した記入例です。そこには、「テスト・プリントで正答率が□%アップした」との表現が並んでいます。これでは、子どもたちはテストづけの毎日になってしまいます。
 このような、付け焼き刃の学力テスト対策ではなく、30人学級の実現など、子どもたちが、生き生きと学び豊かな学力をつける手だてとることこそ、教育行政の仕事ではないでしょうか。

【様式】 平成26年9月7日

学力向上のための今後の取組み計画

市町村名 和泉市
 学校名 ○○小学校
 校長 〇〇 〇〇

1. 平成26年度全国学力・学習状況調査結果の分析による教科・区分の課題と達成目標について

教科	国語A	国語B	算数・数学A	算数・数学B	
達成目標	「国語A」領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善する。 「国語B」領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善する。	「算数・数学A」領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善する。 「算数・数学B」領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善する。	「国語A」領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善する。 「国語B」領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善する。	「算数・数学A」領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善する。 「算数・数学B」領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善する。	「国語A」領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善する。 「国語B」領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善する。

2. 工程表(目標の達成に向けた取組みとその達成状況)

月	取組みの具体的な内容	達成状況	進捗の評価
10月	○国語A領域の学習(国語A)の正答率が低かったタイプの問題に気づき、(国語A)の学習を進め、(国語A)の正答率を上げる。10月までに達成した。	国語A領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善した。	B
11月	○国語B領域の学習(国語B)の正答率が低かったタイプの問題に気づき、(国語B)の学習を進め、(国語B)の正答率を上げる。11月までに達成した。	国語B領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善した。	B
12月	○算数・数学A領域の学習(算数・数学A)の正答率が低かったタイプの問題に気づき、(算数・数学A)の学習を進め、(算数・数学A)の正答率を上げる。12月までに達成した。	算数・数学A領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善した。	B
春休み	○国語A領域の学習(国語A)の正答率が低かったタイプの問題に気づき、(国語A)の学習を進め、(国語A)の正答率を上げる。春休みまでに達成した。	国語A領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善した。	A
1月	○国語B領域の学習(国語B)の正答率が低かったタイプの問題に気づき、(国語B)の学習を進め、(国語B)の正答率を上げる。1月までに達成した。	国語B領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善した。	C
2月	○算数・数学A領域の学習(算数・数学A)の正答率が低かったタイプの問題に気づき、(算数・数学A)の学習を進め、(算数・数学A)の正答率を上げる。2月までに達成した。	算数・数学A領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善した。	B
3月	○算数・数学B領域の学習(算数・数学B)の正答率が低かったタイプの問題に気づき、(算数・数学B)の学習を進め、(算数・数学B)の正答率を上げる。3月までに達成した。	算数・数学B領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善した。	A
春休み	○国語A領域の学習(国語A)の正答率が低かったタイプの問題に気づき、(国語A)の学習を進め、(国語A)の正答率を上げる。春休みまでに達成した。	国語A領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善した。	A
4月	○国語B領域の学習(国語B)の正答率が低かったタイプの問題に気づき、(国語B)の学習を進め、(国語B)の正答率を上げる。4月までに達成した。	国語B領域の平均正答率の対全国比で、現状より0.5%p改善した。	B

※「達成状況」は、当該月の「取組みの具体的な内容」に対して、その達成状況を記入すること。
 ※「進捗の評価」は当該月の「達成状況」を以下の記号で記入すること。
 「A」……達成した 「B」……達成した 「C」……達成できなかった
 ※行は平均する場合は達成率で記入してください。

和泉市教委が示した「学力向上のための今後の取組み計画」記入例

「和泉市の子どもと教育を守る会」学習会

どなたでも参加できます。参加費無料

学力テストで学力は向上するのか どうする、どうなる和泉の教育

日時: 10月26日(日) 午後1:30~

会場: 和泉コミセン2F小運動室

お話し: 山口 隆さん (元全教委員長)

国や府はなぜ、悉皆の学力テストにこだわるのでしょうか。

子どもたちに真の学力をつけるために私たちが今すべきことは何か、ごいっしょに考えましょう。



「集団的自衛権」の行使反対。教え子を再び戦場に送るな。